

## 事例紹介

# 小学校1年生児童への スモールステップを活用した登校支援

## 保護者の願い

# 「学校に登校してほしい」



友だちも多いし、学校に行ってしまったら、何とかになります。でも、嫌がっていきません。どうしたらいいんでしょう。

# 児童の実態

- 小学校通常の学級の1年生男子
- 得意な教科は算数
- 苦手な教科は国語と生活、学活
- 書くことは苦手。
- 友だちは多い
- 学校にいけない理由を聞くと「わからない」と言う。7月から休みがちになる。
- 登校状況は9月が8日、10月が15日、11月が0日。
- 11月に保護者が、相談機関に相談したところ、「無理をしないように」、「本人の行く気が出るのを待つように」とアドバイスを受けた。
- そのアドバイスを実行したら登校日数が0日になった。
- 保護者が学校に行くように促すことを選択したので支援を開始した。

# 指導の方向性

## ① スモールステップ

(小刻みにステップアップ)で進めましょう

例えば、

教室で1時間授業を受ける→次は2時間

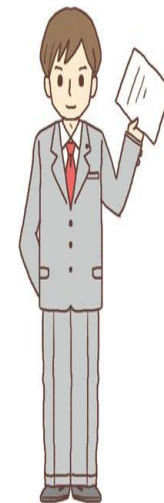
## ② 学校に行くために大きな影響を及ぼす

行動を教えましょう。

例えば、

■ランドセル準備、■6:30に起きる等

③ 目標を決めて、自己チェックし、できた時とできていない時の結果にメリハリを付ける。



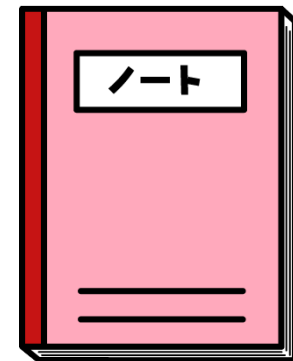
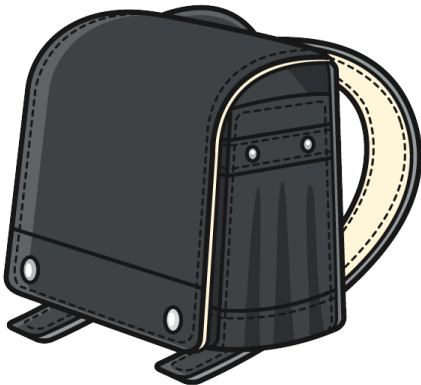
# 指導目標

## 第1期(12月5日～1月13日)

- ・学校で1時間～2時間を教室で過ごす  
(お母さんと一緒)



- ・次の日の学校の準備をする(ランドセル準備)



# 指導目標

## 第2期(1月16日～2月3日)

- ・学校で3時間～5時間を教室で過ごす  
(お母さんと一緒)



- ・朝6:30に起きる(学校に歩いて行く)



# 指導目標

## 第3期(2月6日～3月3日)

- ・教室で5時間、授業を受ける(母の支援を減らす)

ステップ1:昼からお母さん付き添いなし、

ステップ2:3時間目からお母さんの付き添いなし、

ステップ3:正門から付き添いなし、

ステップ4:児童館から(自宅近く)付き添いなし)



- ・朝8:10までに担任の先生に「おはようございます」と言う

→担任ができたら連絡帳に花丸。



# 記録方法と記録

指導の成果を確認するために、指導目標がどのくらいできるようになったかを記録する方法を決めました。

1. 登校
2. 朝の会
3. 1時間目
4. 2時間目
5. 業間休み時間
6. 3時間目
7. 4時間目
8. 昼休み
9. 5時間目
10. 帰りの会・下校

- ・左記の10項目について、全ての時間を参加できたら10/10で100%
- ・学校にいても、廊下や玄関にいた場合は、参加と認めない。

## ・記入例

登校は母親と歩いて登校→○

朝の会は廊下で寝転ぶ→×

1時間目は廊下で過ごす→×

2時間目は教室で授業を受ける→○

3時間目からは学校で過ごせず帰る→×

→この日の1日の出席率は、20%



# 行動契約とは？

## 〇〇君の約束

■宿題プリント1枚

■帰ってきたら「ただいま」と言う

見本



〇が		ねがいごと
11～14	→	3こ
8～10	→	2こ
5～7	→	1こ
0～4	→	0こ

ご褒美交換基準

	宿題プリント1枚	「ただいま」
月	○	○
火	○	○
水	○	○
木	△	○
金	○	○
土	△	○
日	○	○

行動記録表

# 指導1期のポイント

- まずは、「**学校には行く**」というスタンスで共通理解を図る。
- この取組をやってみたい！と思わせるように最初は、願い事が3つ必ず叶うようにスモールステップで目標を設定する。
- 例：
  - 次の日の学校の準備をする（**必ず達成できる目標**）
  - 教室で1時間授業を受ける（**7から8割できている目標**）  
**→0が11こ～14こもらえるように設定するのがコツ。**
- 1週目はご褒美を3つゲットできたことを褒めたたえる。
- ご褒美は高価な物は設定しない。日常子どもが喜んでやるものをご褒美に設定する。
- 1週目に成功体験を積ませ、2週目も頑張ってみたいと思わせるようにすることがポイント。

# 指導1期

## 【田中 太郎】君の約束

- きょうしつで1じかん、じゅぎょうをうける(母と一緒に)
- 次の日の学校の準備をする(ランドセル準備)

大富豪 or 公園へ お出かけ	日曜日 にお買 い物 200円	DS と トランプ
--------------------------	--------------------------	-----------------

3このご褒美をゲット

○が	ねがいごと
11 ~ 14	→ 3こ
8 ~ 10	→ 2こ
5 ~ 7	→ 1こ
0 ~ 4	→ 0こ

	学校1時間	次の日の準備
12月4日(日)	○	○
12月5日(月)	×	○
12月6日(火)	×	○
12月7日(水)	×	○
12月8日(木)	○	○
12月9日(金)	○	○
12月10日(土)	○	○

	父	母
印		よくがんばりました

## 指導2期のポイント

- 登校が定着してきたら、目標のステップを本当に少しずつ上げていく。  
(失敗経験をしないで済むようにエラーレスで進める)
- もし、ご褒美を3個ゲットできずに、2個しかゲットできなかった場合  
→翌週は、ゲットできなかったDSは1週間、必ずさせてはいけない。結果にメリハリを付けることが大切。DSをさせてしまうと、行動契約が崩れてしまう。
- ちょっと頑張らないと○をゲットできないようにステップをあげていく。この辺りのさじ加減が大切になってくる。
- そして、登校にとって大切である「朝早く起きる」ことを次のステップの目標に組み込んでいく。

【田中 太郎】君の約束

- きょうしつで3じかん、じゅぎょうをうける(ははといっしょ)
- あさ6じ30ふんにおきる(がっこうは、あるいていく)

大富豪 or ドンジャ ラ	日曜日 にお買 い物 200円	DS と Wii
------------------------	--------------------------	----------------

2このご褒美をゲット  
DSとWiiは1週間できない

○が	ねがいごと
10 ~ 9	→ 3こ
8 ~ 7	→ 2こ
6 ~ 5	→ 1こ
0 ~ 4	→ 0こ

1/16~ 1/20	きょうしつ 3じかん	6じ30ふん におきる
月	×	○
火	○	○
水	○	○
木	×	○
金	○	○

	父	母
印	8個の○をゲット	

## 指導3期のポイント

- 朝6:30の起床が定着してきたら、目標のステップを上げていく。
- 朝は家を早く出られるようになったので、次の段階の目標を設定した。  
→8:00までに〇〇先生(担任)に「おはようございます」と言う。
- 設定理由→**学校を巻き込み、担任にも褒めてもらえることでモチベーションをあげる。**担任は、連絡帳に花丸を付けることで、目標が遂行したかどうかを母親と共有・確認できるようになった。
- 5時間授業を受けられることが定着してきたら、母親の付き添いを徐々に減らしていく。

【田中 太郎】君の約束

- きょうしつで5じかん、じゅぎょうをうける(正門から母なし)
- 8:00までに〇〇先生に「おはようございます」と言う。

大富豪 or ドンジャ ラ	日曜日 にお買 い物 200円	DS と Wii
------------------------	--------------------------	----------------

〇が	ねがいごと
10 ~ 9	→ 3こ
8 ~ 7	→ 2こ
6 ~ 5	→ 1こ
0 ~ 4	→ 0こ

2/27~ 3/3	きょうしつ 5じかん	8:00 あいさつ
月	○	○
火	○	○
水	○	○
木	○	○
金	○	○

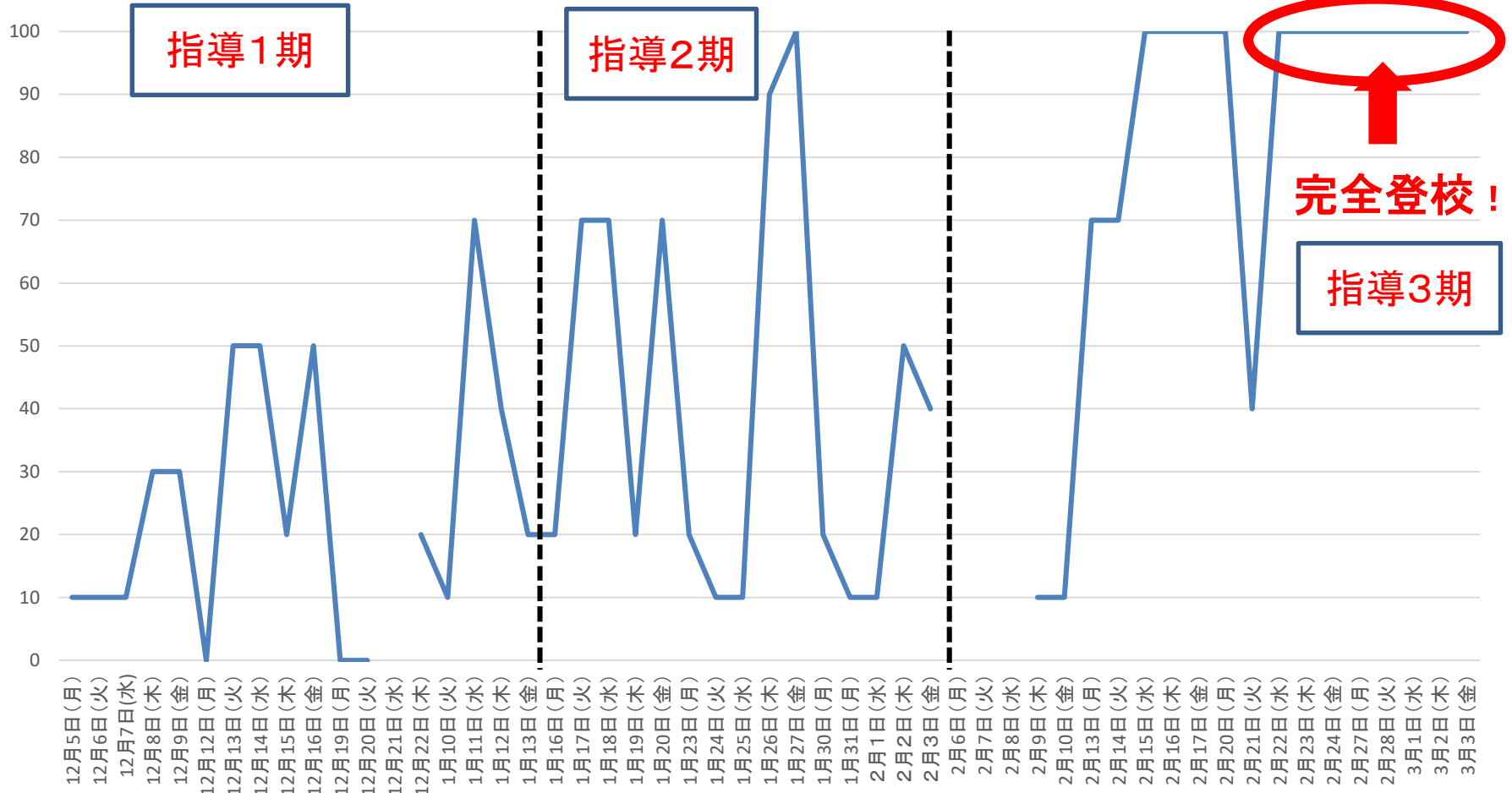
	父	母
印		

# 指導1期から3期の成果

目標設定+ランドセル準備

目標設定+6:30起床

8:10に担任におはよう+母親の付き添いフェイドアウト



ランドセル準備と6:30起床ができるようになったら、登校時間が増えた。登校が安定してきたら母親の付き添いを減らした。



# ここが成功のポイント



○学校に行くために重要な準備行動として「ランドセル準備」と「6:30起床」に着目して、指導目標を設定した。

○ポイントシステムを導入して、達成したらご褒美をゲット、達成しなかったら次週はゲームができないようにして、結果にメリハリを付けた(問題行動は無視、良い行動を褒める)。

○記録をもとに母親と話し合いながら、確実に成功を積み重ねるスモールステップで目標を設定した。